

# シンポジウム 古事記

『古事記』が編纂されてから一三〇〇年目を前に、

『古事記』とはいつたいいかなるテキストだったのか、

その成り立ち、その論理を今改めて問いをおす。

『古事記』をめぐる新たな「論争のはじまり」に

なればと思い、取り組む。

二〇一一年十二月十八日(日)

午前十時～午後四時

奈良女子大学文学系S棟二階

S二二八講義室



パネラー

水林 彪

(早稲田大学・法制史)

今尾 文昭

(檀原考古学研究所・考古学)

大久保 徹也

(徳島文理大学・考古学)

館野 和己

(奈良女子大学・古代史)

司会

小路田 泰直

(奈良女子大学)

主催 奈良女子大学日本史談話会

奈良女子大学文学部 小路田研究室